

## 平成18年度第4回御園地区地域審議会概要

- 1 開催日時 平成19年3月23日（金）午後7時00分～午後9時00分
- 2 開催場所 御園総合支所 3階 学習室
- 3 会議内容 伊勢市総合計画（基本構想）原案の答申について
- 4 出席委員 一蝶哲司委員、浦崎恵子委員、大西勝洋委員、奥本一志委員、倉世古淳子委員、戸上米子委員、中北好美委員、中西源委員、中村浩一委員、中村正委員、西村正委員、西村雅弘委員、西脇英一委員、平野あけみ委員、藤原ひろみ委員、宮本隆生委員、山崎力委員、山本健司委員
- 5 欠席委員 中村浩一委員、濱口繁一委員、森真吾委員
- 6 出席職員 総合支所長、地域振興課長、地域振興課主査
- 7 議事概要

会 長 本日はお忙しいなか、第4回御園地区地域審議会にご出席を賜りありがとうございます。なお、中村浩一委員、濱口繁一委員・森真吾委員については所用のため欠席されているので報告したい。審議会に先立ちこの会議は過半数が出席しているので成立している。

本日については、市長への答申を行うにあたり委員の皆さんの意見を集約し事務局に答申案を作成してもらっている。この答申案について意見交換を行いたい。答申をより効果的なものにするためにも文章表現の訂正など委員の皆さんに意見を求めたい。その前に事務局より答申案の朗読をお願いしたい。

地域振興課長 それでは、お手元に配布してあります答申書案を朗読させていただきます。

（答申案の朗読）

会 長 委員の皆さんからご意見を頂戴したいと思う。答申案の から順番にお願いしたい。

委 員 の内容は理解できるが文章に少しつながりが悪いところがある。「各地域の特色をいかしての学校教育を」を「各地域の特色を生かした学校教育をどのようにすすめるか」に、「どのような子供たちに育てていきたいのか」を「どのような子供たちに育てていく」と修正したほうがよい。

委 員 後段の企業誘致の中で亀山市の例では従業員を地元の人材でなく人材会社に頼っているのが現状なので文言に「地元が活性化するような」を加えていただき、最期の部分で「企業誘致を計画してほしい」を「企業誘致をするとともにまちの雰囲気づくりに努めてほしい」に変更していただきたい。

委 員 について観光に関していえば、たとえば観光客の方が伊勢を訪

れた際、御園町の山田奉行所記念館が他の旧3市町との観光施設との連携がされていないと感じるので文章の中に「各地域が有機的につながる」という文言を挿入してほしい。

委員 観光に関して例えば良い例として九州の由布院があげられる。ここは行政が全く関与せず地元の方で作りあげてきたと聞いている。行政が手を出すと大学の先生等の意見を聞かなければならないとか諸々の利権がからみ駄目である。

委員 自分は旧伊勢市は再開発型、旧二見町・旧小俣町・旧御園村は開発型だと考えているので、合併後の都市計画を明確にする必要があると思う。企業誘致に関しては近隣地域との連携が重要になってくるが、玉城・度会の方が有利のような気がする。伊勢市駅前については重要なので個別に考える必要がある。

委員 について文章はこれでいいが、御園町内での具体的な動きはあるのか教えてほしい。

総合支所長 消防署御園分署が平成19年度に設計、平成20年度に建設を予定している。なお、この御園分署は当初は消防業務だけであるが将来的には救急体制も考えているが定員の問題もあり詳細についてはこれからである。

委員 小林地区・上條地区の堤防の改修状況はどうなっているか。

地域振興課長 地元から指摘のあった漏水箇所についてはモルタル補修をしている。管理については国土交通省であるため宮川出張所へ要望をあげている。台風時には状況を見ていただいている。

委員 についてもこれで結構であるが、御園町の伝統文化については残さなければならないものは時代の流れに合わせて調整しながら残していってもらい、切り捨てるものは切り捨てていかなければならないと思う。行政にはそのお手伝いをしていただきたい。

委員 についてであるが、厳しい状況ならば合併特例債を借りる必要はなかったのではないか。

総合支所長 合併のメリットとして財政的に有利な合併特例債の借入が可能となる。この合併特例債は、合併市町村が、まちづくり推進のため新市建設計画に基づいて行う事業や基金の積立に要する経費について、合併年度及びこれに続く10ヵ年度に限り、その財源として借り入れることのできる地方債である。

合併特例債は対象事業費の95%が借入でき、その元利償還金の70%が普通交付税に算入される有利な起債であることを理解いただきたい。

委員 については、「行政改革の推進・人員の適正化」の文言を挿入していただきたい。

総合支所長　今回、伊勢市定員管理計画を策定した。この計画は、平成18年度を起点とし、今後五年間で約100名を削減する計画である。計画の内容については次回の審議会で資料を提示したい。

委員　主な意見のなかに、これまでご苦勞をされたお年寄りの方のための文言が入っていないのでその項目を追加していただきたい。

委員　お年寄りと言えば、老人いきいきサロンの補助金が合併前は11万あったのが合併後6万3千円と減額されている。住民説明会でも当分の間は変更しないということだったが・・・。

総合支所長　次回の審議会までに内容を確認したい。なお、当分の間とは3年から5年間である。

会長　まもなく予定の時間である。委員の皆さんから文言の表現、内容等貴重なご意見を頂戴した。これらのご意見を元に最終的な答申書を作成したいと考えている。答申の期限もあるのでこの件に関しては私と副会長にご一任願えるか。

（一同異議なし）

会長　それでは、事務局において只今の意見を十分に加味し答申書を作成いたしまして私と副会長で答申するのでよろしくお願ひしたい。これで第4回御園地区地域審議会を終了したい。なお、次回19年度第1回目の日程については4月から5月を予定しており詳細が決定次第通知させていただく。

終了

平成19年 月 日

伊勢市長 森 下 隆 生 様

御園地区地域審議会  
会長 中 村 正

伊勢市総合計画の基本構想原案について(答申)(案)

平成19年2月21日付け18政第910号で諮問のありました「伊勢市総合計画(基本構想)原案」について、当審議会では、審議を行った結果、伊勢市の計画的なまちづくりの指針を定めるものとしておおむね妥当であると認めます。

なお、審議の過程で各委員から出された主な意見につきましては、別紙のとおりです。

御園地区地域審議会「伊勢市総合計画基本構想」答申に当たっての主な意見  
(案)

伊勢市として各地域の特色を生かしての学校教育を、どのような子供たちに育てていきたいのかを明確に謳ってほしい。今後人口が減少していくなかで、これ以上の人口減少を防ぐためにも若い人たちが夢を持って働くことができるよう積極的な企業誘致を計画してほしい。

道路整備等は、観光施策をはじめ地域活性化を推進するうえでも重要であるので、それぞれの地域の可能性や課題について十分考慮したうえで、短期・中期・長期と各スパンごとに明確なまちづくりを計画してほしい。その過程において地域審議会で挙げられた意見をはじめ幅広い意見を聞いた上で作成してほしい。

将来東海地震、東南海・南海地震が懸念されるなか、市民を守る消防など安全面・防災面について市民がより安心して暮せるようハード・ソフト両面にわたり配慮してほしい。

伊勢神宮というブランドイメージに頼り過ぎることなく、伝統を大切にしながらも将来に受け継ぐものを明確にしながら取捨選択した施策を講じてほしい。

現在の厳しい財政状況を少しでも良くするためにも、財政基盤を強化できるような施策を基本計画の中で検討してほしい。

基本計画を策定する過程において、補助金・職員給与等について合併協定書の内容を遵守してほしい。